

月間目標  
 4月 環境整備  
 5月 安全管理  
 6月 健康管理



発行所 陸上自衛隊岩見沢駐屯地  
 O B 会  
 岩見沢市日の出台1-3  
 印刷所 北海道立福祉村  
 空知郡栗沢町字最上350番地  
 電話(0126)45-2721

# 昭和63年度 第12施設群 編成新たに

## 近代化して精強化に拍車

年度開始に当って！

第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令  
 一等陸佐 久留島 昭彦



三月二十五日、第十二施設群は、陸上自衛隊の近代化施策及び北方重視の防衛戦略に基づいて改編され、新たな体制で昭和六十三年度をスタートすることになりました。

私は、着任してからのこの一年間、三つの顔を意識して仕事をしてきました。その一つは勿論、精強な部隊を練成する部隊指揮官の顔ですが、他の一つは隊員の処遇改善のために闘う労働組合委員長の顔であり、もう一つは隊員の活躍ぶりを部外にPRする宣伝マンの顔でもあります。

宣伝マンとしては、駐屯地に関する新聞報道件数がこれまで延べ五十件にもなったこと等、それなりの成果がありました。念願の体育館建設の目途も立派です。残念ながら落第でした。この償いは、本年度、駐屯地環境整備長期計画を実行に移し、真に寛げる駐屯地造りを軌道に乗せることだと考えています。部隊指揮官としては、隊員諸官の真摯な努力により、逐次部隊の練度も向上しつつありますが、「有事の際に真に役に立つ」という目標は、まだまだ高く、遠いところにあります。

つて、第十二施設群は、民生協力を主任務とする地区施設隊を、下図のように、人員・装備を増強して防衛行動に任ずる施設中隊として強化し、また、自走架柱機や地雷敷設装置等も新たに装備して、名実共に我が国最北に位置する施設科部隊として、有事の際には道北防衛に任じて戦う体制が一応整ったわけです。

したがって、昭和六十三年度は、いよいよその中身を充実させる年であります。

戦場で、真に役に立つためには、しなければならぬことは沢山ありますが、本年度は

### 厳粛に編成完結

岩見沢駐屯地の第十二施設群は、第三施設団の改編に伴って改編され、三月二十五日

編成完結式を挙行了。編成完結式典には、第三施設団長をはじめ、空知支庁長

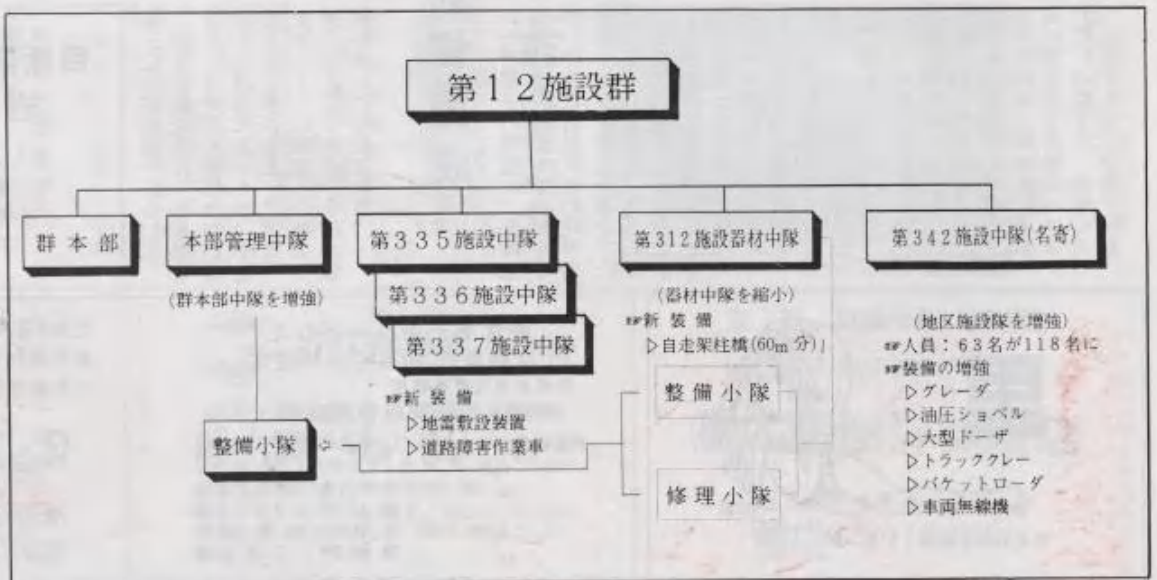


第342施設中隊旗授与式

取り敢えず「無声指揮」を練成目標としたいと考えています。剣電陣雨の戦場では、声を出しても聞こえず、部隊は指揮官の目の色、手の動きで整齊と行動できなければなりません。このため、隊員一人一人が自分のなすべきことを熟知し、指揮官の無言の合図を的確に読み取って行動することが不可欠です。

先般、岩見沢のあるクラブで、この「無声指揮」の真髓を見ました。ママさんの目くばせ一つで、ホステスさん達が実に効率よく、客の間をまわって接待しているのです。

どこの世界でも、洗練された組織は皆同じだと感じました。我々もこのクラブのママさんや、ホステスさん達に負けないように頑張らなくてはなりません。



岩見沢、三笠、栗沢、月形、北の各市町村長、協力会長父兄会長及び隊友会岩見沢支部長等、多数の来賓を迎え、群長、久留島昭彦一佐により旧中隊旗返還、新中隊旗授与訓示が厳粛に行なわれ、引き続き勇壮な観閲行進で締めくくった。

なお、第十二施設群は、前身である第五三二施設大隊が昭和二十八年に金沢から移駐し、昭和二十九年に第一〇二施設大隊と改称された。昭和五十一年三月、第一〇二施設大隊は、二十二年間の輝かしい伝統を継承して第十二施設群と改称され、昭和五十七年三月の改編により、第三〇四タンブ車両中隊が廃隊となり、この度、近代化施策等による改編を迎えた。



### 3CT検閲に参加して 第三三七施設中隊長

中隊は三月一日と三月四日の間3CT冬季検閲に協同部隊として参加した。今回の検閲は、三月一日から二日の間を名寄駐屯地でのCPX、引き続き三日から四日の間を上富良野演習場での実行動として実施、特に戦闘団規模としては「交戦器材」を初めて使用し、従来と異なり、より実戦的な状況の中で行なわれた。「交戦器材」とは、各種火器にヒットインジケーターを取り付けるとともに、人員、車両にはレーザーを感知できるディテクターを装着して直射又は曲射火器による損害をその場で厳正に判定・表示できる器材であるが、残念ながら中隊には協同部隊の為、配分されなかった。検閲における実行動は、上富良野演習場金田宿営地において三日0400から開始され、警戒部隊の戦闘が始まり先遣部隊にも逐次損害が出始めた頃

### 団業務改善展示会 優秀野元一曹

昭和六十二年第三施設団業務改善展示会が二月二日、三日の間、南恵庭駐屯地で行なわれた。業務改善は隊員の業務改善意欲を向上し、服務意欲の高揚を図るとともに業務の効率的な推進に資す



る目的で毎年行なわれており、今年も各部隊から選ばれた三十一点が展示された。展示された作品は、恒常業務等において従来の方法に比べて迅速かつ安全・容易にしかも低コストで使用可能に改善工夫されていた。その中で第十二施設群第三〇一地区施設隊(現、第三四二施設中隊)野元一曹提案の一車両用ガラスのラバー取付用工具が「優秀」を獲得した。この作品は、ドライバをラバー取付工具に改造(写真)

れた検閲も第一線陣地を確保した四日1000に状況終了となった。振り返ってみると「交戦器材」の使用及び電子隊による妨害等により実戦陣地の様相並びに分敵・偽装及び工事等、戦術基礎動作の重要性を肌で感じる貴重な体験を得た戦闘団検閲であった。



中士 坂東 三六三

### 優秀賞を獲得 群・団意見発表会

第十二施設群では、二月二十二日、地元の名士、多数の来賓及び報道関係者を招き、群意見発表会(自衛隊版「青年の主張」)を開催した。群意見発表会は、第三施設団意見発表会の予選会を兼ねて毎年行なわれており、今年も各中隊から選抜された(十二名)と青年会議所からの特別参加(審査対象外)を得て行なわれ、第三三六施設中隊の

な。今回の第三戦闘団検閲において第三普通科連隊長から第三三七施設中隊に四級賞状が授与されたことを付記して隊員の敬謝を称えたいと思ふ。

☆四級賞状  
第三三七施設中隊  
(第三普通科連隊長)

した物で、従来の作業方法に比ベコム及びガラスを損傷することなく迅速容易にラバーの取付作業ができ、第三施設団として採用されて各部隊に普及された事になった。業務改善は、常に問題意識をもって積極的に隊務を行なう事により、業務のマンネリを防止し、より迅速かつ安全・容易な方法が考えられるもので特に現物が製作されていなくても、「着想提案でもよい」との団長指針も出ているので、次年度の業務改善展示会には、さらに多くの提案が出される事を期待している。

### 全道銃剣道大会 二部三位入賞

第二十八回北海道銃剣道大会が、四月三日、滝川駐屯地において行なわれ、第十二施設群からは池田一尉を監督として、戦技訓練隊から選抜された選手が参加し、自衛隊第二部の部で第三位入賞を果たした。出場したブロックの自衛官二部は、一佐を長とする部隊の部で、全道から十六個チームが参加してトーナメント方式により行なわれ、先鋒に荒井二曹、次鋒中条三曹、中堅村川二曹、副将岩戸三曹、大将に池田二曹の編成で必勝をかけて大会に臨んだ。試合では、各チームとも力の差はなく一本を争う激戦となったが、第十二施設群代表の選手は日頃鍛えた技と力がいかに発揮して、団体戦

### 待望の識別帽完成

岩見沢第十二施設群では、陸幕通達に基づき、部隊識別帽を作成するにあたりデザインを募集した。その結果三十点以上の作品の応募があり多くの隊員の審査を仰ぐことになり無記名で教場に展示した。隊員による審査(投票)をした結果「コブシの花」の作品が人気を集めた。この作品をデザインしたのは、第十二施設群群長・久留島一佐で、後で知った隊員達は一様に驚いて



いた。帽子の特徴は、全体を施設科を表わすエンジでまとも、中央に岩見沢市の花である白いコブシの花を置き、上部に第十二施設群、下部に陸上自衛隊岩見沢と英語の金糸文字を刺繍したもので、各中隊の識別は、帽子の左横にゴシック体の数字で表現されている。また、幹部用はヒザシの付根に金の飾り紐、佐官用はヒザシに礼帽と同様の飾りが付けられている(写真)。また、名寄に駐屯する第三四二施設中隊はIWAMIZAWAをNAYOROとした。岩見沢市を象徴し、第十二施設群の伝統を秘めて、春真っ先に咲き出す清楚な「コブシの花」の帽子が、各地において活躍する姿が想像される。

### 自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内  
支部長：三谷栄一  
TEL：0126-22-3445

北海道電力林指定・ナショナル電工チェーン店  
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工  
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品

### 千葉電気商会

068 岩見沢市東山町2番地7-1  
電話(0126)24-4567番

中国風パブスナック

**里**

岩見沢市3条西1丁目 23-2533  
25-0631

時代を一步リードした  
中庭のあるモデル住宅

柏崎建築設計事務所  
建築請負 柏崎建設株式会社  
代表取締役 **柏崎昭明**

会社 岩見沢市11条西1丁目 21番  
代見 岩見沢市東山 2番  
電話 241725  
木工場



### 隊 計冬季戦技競技会準優勝

昭和六十二年度北部方面会  
計冬季戦技競技会は、二月  
三日〜四日、滝川演習場にお  
いて実施され、北部方面隊二  
十三個チームが断効競技及び  
リレー競技に隊の名譽をかけ  
て競い合った。

大会前夜の第三七七會計隊  
は葛西二曹の指示のもとワッ  
タスの調整を行ない、監督を  
囲んで作戦会議を行なう等、  
全員意気盛ん、必勝の信念に  
燃えていた。



大会初日の滝川  
地方は、わが會計  
隊の意気込みを恐  
れをなしたのか数  
年振りの豪雪にみ  
まわれ、演習場へ  
の道路も遮断され  
て競技開始が危ぶ  
まれる状態であっ  
たが急遽コースを  
駐屯地内に変更し  
て、午後二時から  
断効競技が開始さ  
れた。

### 第三三七施設中隊V2

第十二施設群では、冬季戦  
技能力の向上を図る目的で一  
月二十日群冬季戦技競技会を  
地元隊友会、協力会、父兄会  
一般市民、隊員家族及び報道  
陣を招き、市民スキー場及び  
駐屯地・孫別演習場で開催し  
た。

開会式において群長（久留  
島一佐）から「スキーに慣熟  
することが最重要、部隊団結  
とスキー技術の向上を図れ」  
と訓辞があり、午前中は市民  
スキー場において、中級・上  
級の区分ごとに大回転が行な  
われた。午後からは、駐屯地  
・孫別演習場の起伏に富んだ  
コースで各中隊の選抜選手約  
二百六十名が、ヘルメット、  
小銃、水筒を装着して参加し  
一般距離走（一人六杆メート  
ル）の戦技を競った。

は、実力を發揮して三位に輝  
上、更に第三走者葛西二曹が  
一人抜いて最終走者坂本二尉  
に二位でバトンタッチした。

坂本二尉は一杆メートル地  
点で三位に後退し、これまで  
かと思われたが、隊員全員の  
応援を受け最後の二杆メート  
ル地点で再び抜き返して二位  
でゴール。昨年に続き総合準  
優勝の栄冠を獲得した。

- 大会二日目は、前日とらっ  
て変わった快晴に恵まれ、演習  
場でリレー競技が実施された  
第一走者吉藤三曹は、よく  
健闘して一位と差のない六位  
を確保し、第二走者深町三曹  
は、実力を發揮して三位に輝  
上、更に第三走者葛西二曹が  
一人抜いて最終走者坂本二尉  
に二位でバトンタッチした。
- ☆五十八年 近代二種三位
  - ☆五十九年 総合優勝
  - ☆六十年 近代二種三位
  - ☆六十一年 総合優勝
  - ☆六十二年 総合準優勝
  - ☆六十三年 総合準優勝

### 今年三度目の防衛講話

岩見沢駐屯地司令（久留島  
一佐）は、ロータリークラブ  
ライオンズクラブ等の部外諸  
団体に対する防衛講話を機会  
あることに積極的に行なって  
いる。六十三年に入って三回  
目の講話は二月二十一日、岩  
見沢中央ライオンズクラブ  
（会員六十名）を駐屯地に招  
いて実施した。会員達は駐屯  
地を見学後、体験喫食を行な  
った。



選手達は、応援に駆けつけ  
た協力団体及び家族の声援に  
応えるかのごとく例年になく  
燃え熱戦を繰り広げた。

アキオ曳行の部では、本部  
中隊が練習の成果を遺憾なく  
發揮して一位の成績を取めた  
ものの総合成績では、階級別  
リレーと一般走を制した第三  
三七施設中隊がV2を達成し  
た。

また、閉会式では隊友会か  
ら賞品、賞状等が送られ隊員  
達のはころんだ顔が見られる  
等、盛会の内に終了した。

### ガンバレニッポン号金賞

自作ソリ大会  
第四回岩見沢自作ソリ大会  
が三月六日、三井グリーンラ  
ンドスキー場で行なわれ、岩  
見沢駐屯地から第三三七施設  
中隊が参加した。

この自作ソリ大会は岩見沢  
二世会主催により例年行なわ  
れているもので、今年是他市  
町村からも各企業、団体、個  
人等により四十四台のソリが  
参加する盛会振りであった。

各チームとも「自慢のソ  
リ」に乗りいざ出発！設計ミ  
ス？かコースの途中で分解し  
たり、横転するソリに会場は  
応援と爆笑の渦となった。

その中であって、第三三七  
施設中隊の「がんばれニッポ  
ン号」（写真）は、みごとな  
滑降を披露し、コスチューム  
製作を担当したのは、中条  
三曹、里見士長、高橋一土の  
三人で、大賞を夢見て課外、  
祝祭日等を利用して、約一ヶ  
月半〇万円かけて製作した。

今年大賞をのかし、くやし  
がることしきり……

い、午後から駐屯地司令の  
「日本の防衛について」と題  
する二時間わたる防衛講話  
を聞き、その後史料館を見学  
して全行事を終えた。講話終  
了後、ほとんどの会員の方々  
は一駐屯司令は幹部学校教  
官、陸幕の防衛班長を歴任さ  
れているだけに内容も深いも  
のがある。

- ☆四級賞詞
- 二尉 大橋 信三 (職)
  - 二尉 結城 正 (職)
  - 二尉 岡本 修 (職)
  - 准尉 井田 吉昭 (職)
  - 一曹 佐々木勝義 (職)
  - 二曹 市川 泰博 (職)
  - 二曹 河合周四郎 (職)
  - 二曹 山内 克彦 (職)
  - 三曹 土橋 正志 (職)
- ☆陸曹候補生課程教育優秀者  
第三三七施設中隊  
士長 千葉 春彦  
教育中隊長賞

### 転入者紹介

新副群長紹介  
☆二佐 古橋 治夫  
S16・1・9 (大阪)

南忠庭駐屯地第三施設団第一  
科長から着任。  
昭和五十七年三月〜昭和六十  
三年三月まで第三科長として勤  
務、今回二度目の岩見沢勤  
務。

(スポーツ・読書) U 65

新銃科(隊)長紹介  
☆第二科長  
三佐 宮川 明  
S18・3・26 (北海道)

南忠庭第三施設団本部改編業  
務室長からの着任。  
(ハイキング) U 67

☆警務隊長  
三尉 横山 忠由  
S36・8・4 (大阪)

練馬、第一師団司令部付隊保  
安警務隊からの着任。  
(ツーリング・読書) I 87

張り切って着任しました。



来年こそ、きつと大賞をと  
張り切っていた。  
コスチューム金賞

保障から年金まで  
あなたのコンサルタント  
としてお役に立ちます

**朝日生命**  
岩見沢営業所 ☎22-0207  
担当 柳 生 瑞 子

**近江建設株式会社**

特定土木建設許可・一級建築士事務所

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026  
支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179  
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目  
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359  
営業所 三笠市標内本沢町 電話2-5403

宝石 創業80年 貴金属  
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

**(株)太田時計眼鏡店**

岩見沢市1条西4丁目  
☎0126-23353・23354



成人の誓い



336 施中 神田士長

現在まで、大きな事故や重い病氣、怪我もなく今年無事に成人式を迎えることが出来ました。

今までは、成人式など他人事のように思っていましたがいざ自分が成人式を迎えるとなると身が引き締まる思いです。

成人の意味は？と聞くと、大人、満二十歳以上の人、子供が成長すること、自分自身で責任をとる等、色々聞きます。

私は今まで親や親戚・友人等に色々迷惑や心配をかけたりにして助けてもらった事も



厚生科 真鍋昭彦

三年前、学校を卒業して三月も終りに近づいた頃、私は上富良野からこの岩見沢にやってきました。

三月末といえは融雪も進んで暖かさが日毎に増し、春近しを思わせる日和日に、私の社会人一年生としての生活が始まりました。

家族と何となく自由なく暮らしていた私にとって一人で生活す

あれから三年



不安、また、仕事に対する不安と期待等の複雑な気持ちの中の初出勤、そして緊張した日々、仕事の失敗もありました。

急に人格を変える事は出来ないと思えます。一日一日を大切にし、他人にはもちろん、親・親戚・友人等に迷惑をかけるような努力はしてゆきつめてです。



新婚さん

急に人格を変える事は出来ないと思えます。一日一日を大切にし、他人にはもちろん、親・親戚・友人等に迷惑をかけるような努力はしてゆきつめてです。

人事住来

行く人

くる人

第十二施設

第十二施設

定年退官
永い間本当にごくろうさまでした

- 群本部中隊
陸曹長 中川 直 (3%)
第三二施設器材中隊
陸曹長 福江 博義 (3%)
第三二施設器材中隊
陸曹長 堀田 三亥 (3%)
業務隊
行(4) 佐々木英司 (3%)

- ☆道外
二尉 大橋 信三(勝田)
曹長 月俣 末俊(小郡)
☆道内
二佐 星加 和雄(苗穂)
二尉 関本 修(真駒内)
三尉 三輪 正人(真駒内)
三尉 石井 正尚(東千歳)
士長 山本 哲也(函館)
☆名寄駐屯地へ
三尉 高木 茂 准尉 佐々木努
准尉 井田吉昭 曹長 霧下隆徳
一曹 高倉利美 一曹 佐藤 隆
一曹 鶴田宏道 一曹 小柳 隆
一曹 松井 充 一曹 河原隆美
一曹 市川孝徳 二曹 深尾高明
二曹 福永秀美 二曹 宇田川雅美
二曹 伊藤一則 二曹 山内克彦
二曹 長谷川一訓 三曹 菊地勝博
三曹 増川政司 三曹 松山亮三
三曹 浅川 治 三曹 竹下明宏
三曹 木下 誠 三曹 鹿子木一徳
☆南恵庭駐屯地へ
曹長 大宮勝徳 一曹 高橋三雄
二曹 土屋英雄 二曹 佐々木博文
二曹 石岡芳彦 二曹 尾路昭広
三曹 松村朝光 三曹 土橋正志
三曹 長谷川真美 三曹 大田博幸
○業務隊
二尉 早木 弘光(真駒内)
○第三二七会計隊
二曹 西園 章(札幌)
○警務隊
二尉 松宮 源助(中方警)
○第十二施設
二佐 古橋 治夫
(南恵庭) 副群長
三佐 宮川 明
(南恵庭) 第二科長
二尉 吉田 吉彦
(真駒内) 第三三五施中
☆本部管理中隊へ
曹長 柴田 武輔(南恵庭)
一曹 菊池 哲也(南恵庭)
士長 斎藤 信一(美幌)
☆第三三六施設中隊へ
三曹 阿部康宏(上富良野)
三曹 松田茂雄(上富良野)
☆第三三七施設中隊へ
准尉 佐藤 勝(岩業)
准尉 梅津 和幸(美幌)
三曹 鈴木 正嗣(名寄)
☆第三二二施設器材中隊へ
曹長 松崎 延男(南恵庭)
一曹 平賀 信秀(南恵庭)
一曹 山内 巧(南恵庭)
一曹 佐藤 勝義(南恵庭)
二曹 佐藤 俊一(美幌)
三曹 竹之内能二(上富良野)
一士 中村 好文(美幌)
☆第三四二施設中隊へ
准尉 村井 功(南恵庭)
三曹 川中 一(南恵庭)
☆業務隊へ
二尉 和田 良作(真駒内)
☆第三二七会計隊へ
三曹 宮本 元(名寄)
☆警務隊へ
三尉 横山 忠由(練馬)
張切って着任しました。

東邦生命
●年金と医療保険のバイオニア
●生涯の保障に終身保険(明朗)
日々の暮しに安心を
担当 深沢隆子 (内327)

華燭
ご両家ご負担 200,000円
ホテルザプラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

協栄生命
国をまもる防衛庁職員のための
協栄生命
担当: 田村純子、高橋ひさ子

富士火災
安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
担当 松浦直樹
岩見沢支社 Tel 23-5142

ランチタイムサービス
★午前10:30~午後2:00まで
\*宴会料理\*
味の式部
岩見沢市4条西2丁目 ☎23-1892

あなたの祝典のステージ
岩見沢 平安閣
岩見沢市5条東2丁目
☎(0126) 23-4581